

平成27年 6 月 30 日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

総務文教常任委員会委員長 寺林 俊幸

総務文教常任委員会報告書

平成27年 6 月 9 日本委員会に付託された事件を審査した結果、下記のとおり決定したので、会議規則第94条第 1 項の規定により報告します。
記

1 委員会開催日

平成27年 6 月 9 日、16日（2日間）

2 審査事件

陳情第 2 号「道教委『新たな高校教育に関する指針』の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書」の提出を求める陳情書

3 陳情の趣旨

道教委は、「新たな高校教育に関する指針（2006年）」に基づき毎年度「公立高等学校配置計画」を決定し、高等学校の募集停止や再編・統合を進めてきました。

これらの対象になった高校では入学希望者が激減し、さらには地元を離れる保護者も現れ、過疎化を加速させ、地域の活力を削ぐことになっていきます。また、地元の高校を奪われた子どもたちは、遠距離通学や下宿生活等により、精神的・身体的な負担が増大しています。

このように「配置計画」が進めば、北海道の高校の約43%がなくなることになり、地方の切り捨て、ひいては北海道地域全体の衰退につながります。

したがって、広大な北海道の実情にそぐわない「新たな高校教育に関する指針」の抜本的な見直しを行い、地域に高校を存続させ、障がいのある・なしに関わらず希望するすべての子どもにゆたかな後期中等教育を保障するための検討を進め、「公立高等学校配置計画」については、道民の切実な意見に真摯に耳を傾け、一方的な策定を行わないことを求めます。また、教育の機会均等と子どもの学習権を保障するため、「遠距離通学費等補助制度」の5年間の年限を撤廃し、元々高校が存在しない町村から高校へ通学する子どもたちも制度の対象とするべきです。

以上の趣旨から、意見書の提出を求めるものです。

4 審査の経過

審査にあたっては、陳情の趣旨等について論議がなされ、全会一致で結論をみた。

5 審査の結果

「採択」すべきものと決した。